

## 農作物を有害鳥獣から守ろう

1月21日、中央公民館で西諸県地域鳥獣被害対策特命チーム地域研修会が開催されました。「鳥獣害・なぜ増える? どう防ぐ!」と題した講演や、現地研修が行われました。



## 統計に貢献した個人と団体を表彰

2月8日、統計の普及啓発や事務において功績のある個人や団体を表彰する統計功績者表彰が行われました。小林市からは10人と1団体が表彰されました。



【以下表彰者・敬称略】

■農林水産大臣表彰…平岡昭義、池田徳子  
 ■宮崎県統計協会会長表彰…川良文弘、窪谷江利子、上床加代子、鶴野康則、山口宗市、吉村ハツ子、吉村伸元

■宮崎県統計グラフコンクール表彰

▲入賞…小堀裕大(南小4年)

作品名「みんな大すき!ジブリ作品」

▲学校賞…南小学校

## 人権啓発に尽力。泉貞範さんに感謝状

1月19日、平成7年から15年間、人権擁護委員を勤めてきた泉貞範さんへ、法務大臣と県人権擁護委員連合会から感謝状が贈られました。泉さんは「経験を活かし、今後も人権啓発に努めていきたい」と話していました。



## 竹の器に美味しい田舎料理

2月9日、中央公民館で北きりしま田舎物語料理教室が開催されました。「ひばり工房」の坂上弘子さんを講師に迎え21人が参加。地元の旬の食材を使った京いもコロッケやごぼうの甘露煮などを作り、竹の器においしそうに盛り付けていました。



3月13日には、協働のまちづくりについて考える「協働のまちづくり市民フォーラム」が文化会館で開催されます。

## 市民協働のまちづくりについてみんなで考えよう

2月1日～10日までの5日間、市内5ヶ所で協働のまちづくり地区別座談会が行われました。協働のまちづくり市民会議と市が主催したもので、5回合わせて200人が参加。条例や地域コミュニティなど同会議のメンバーから説明があった後、参加者からは多くの意見や質問が出されました。



代表して、堂々と謝辞を述べ、会場を沸かせた原田光徳さんと妻のツルミさん(金婚者代表)。

## 心のかよう住みよい福祉のまちづくりを目指して

2月9日、こばやし福祉推進大会が文化会館で開催されました。こすもす保育園児のかわいらしいダンスで開幕し、福祉功労者個人・団体を表彰。金婚者148組、米寿者92人を祝い、仲好会による舞踊やハーモニックポピーズによるハーモニカ演奏が披露され、会場を盛り上げました。

## 地域の歴史に思いを馳せ「南ヶ丘音頭」を作成

1月25日、南ヶ丘地区の森山正男さんが、同地区への思いをつづった「南ヶ丘音頭」を作成し、森山さん宅で発表会が開催されました。歌詞は3番まであり、南ヶ丘地区が開拓されたことなど、地域の歴史に思いをはせる内容。発表会では、同地区のサロンの利用者などと完成を祝いました。



森山さんは「地域が開拓されてできたことなど歴史や情景などが伝われば」と話していました。

## 認知症の理解を深めよう 介護予防フォーラムⅡ開催

1月29日、文化会館で介護予防フォーラムⅡが行われました。「認知症の人と家族の会」副代表理事で神奈川県川崎クリニック院長の杉山孝博さんが講演。「知ってますか? 認知症」と題し「認知症の最大の問題は、その症状の理解の難しさにある」と説明しました。



この他、「ほたるネットこばやし」による介護劇や、北西2区の福祉支え合いマップ事業の活動報告が行われました。



6年の永迫空樹くんは「水が勢よく出て驚いた。大人になって機会があれば消防団に入りたい」と感想を話していました。

## 消防団と消火体験 東方小で避難訓練

1月18日、東方小の避難訓練が行われました。訓練は火災を想定したもので、児童は、迅速に校庭へ整列。その後、消防団第4分団第7部の団員が活動状況を紹介した後、ポンプ車を使用し、防火衣を着用した児童とともに校舎に向かって放水の体験を行いました。



南谷会長は「カワゴロモは泥が堆積したり、競合するコケ類が増えすぎると死滅する恐れがある」と話していました。

## 岩瀬川に生息する絶滅危惧種 オオヨドカワゴロモを守る

1月22日、世界でも小林市に流れる岩瀬川にのみ生息する絶滅危惧種の水草「オオヨドカワゴロモ」の保護活動が行われました。宮崎植物研究会(南谷忠志会長)や市民有志など約40名が参加。参加者は竹ぼうきやデッキブラシ、スコップ等を使い、泥やコケを丁寧に取り除いていました。